

■ 学校の共通目標

|      |    |                                                                                        |      |  |      |  |
|------|----|----------------------------------------------------------------------------------------|------|--|------|--|
| 授業作り | 重点 | ・学習規律を整えるとともに、問題解決型学習過程を全教科で適宜取り組み、主体的な問題解決力を養う。                                       | 中間評価 |  | 最終評価 |  |
| 環境作り |    | ・各教科で適宜 ICT 機器を活用する。また児童同士の学び合いのツールとして ICT 機器を活用するなど授業展開を工夫して、どの児童にも「分かる」「できる」学習環境を作る。 |      |  |      |  |

■ 学年の取組内容

| 学年 | 教科 | 学習状況の分析（10 月）                                                                                                             | 課 題（10 月）                                                                                                   | 改善のための取組（10 月）                                                                                                                           | 最終評価（2 月）         |           |
|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----------|
| 1  | 国語 |                                                                                                                           |                                                                                                             |                                                                                                                                          |                   |           |
|    | 算数 |                                                                                                                           |                                                                                                             |                                                                                                                                          |                   |           |
| 学年 | 教科 | 学習状況の分析（4 月）                                                                                                              | 課 題（4 月）                                                                                                    | 改善のための取組（4 月）                                                                                                                            | 中間評価・追加する取組（10 月） | 最終評価（2 月） |
| 2  | 国語 | <div>学文章を書くときに「は」「を」「へ」を正しく活用することが課題となる児童が見られる。また、「、」「。」が抜けてしまう児童が多い。</div>                                               | ・文章を書く際に「は」「を」「へ」を正しく活用することが課題である。                                                                          | ・「は」「を」「へ」を正しく活用することを定着させていくために、見本となる文章を繰り返し視写していく学習活動を取り入れる。また、「あのね日記」などで、正しい活用方法を指導していく。                                               |                   |           |
|    |    | <div>学漢字の書き順や読み方が、定着していない児童が見られる。</div>                                                                                   | ・漢字の書き順や読み方、活用の仕方を定着させていくことが課題である。                                                                          | ・新出漢字を指導していく際に、ICT 機器を活用しながら漢字の書き順と一緒に確認し、正しい漢字の書き順や、読み方を定着させる。日記や作文で、既習の漢字を活用できるよう、既習漢字の一覧表等を用いて指導する。                                   |                   |           |
|    |    | <div>学大きな声で音読することが苦手な児童が見られる。</div>                                                                                       | ・下を向かず、はっきりと大きな声で音読をしていく態度を身に付けさせることが課題である。                                                                 | ・音読を友達同士で聞き合うことや、発表する機会を設定することで、相手を意識して音読をしていく学習活動を取り入れていく。                                                                              |                   |           |
|    | 算数 | <div>学計算に時間がかかり、課題が終わらない児童が見られる。</div> <div>学筆算をする際に、正しい順序で計算していない児童が見られる。また、ノートの書き方を理解していない児童がいる。</div>                  | ・たし算やひき算の基本的な計算の速度を速くするとともに、正答率を上げていくことが課題である。<br><br>・位をそろえて計算することの利点を理解させるとともに、正しい筆算の書き方を定着させていくことが課題である。 | ・基本的な計算を定着させるために、計算ドリルやプリント教材を活用し、計算問題を繰り返し行う。児童に自身の到達度を実感させながら取り組ませていく。<br><br>・筆算の計算の順序を声に出しながら記述をしていく、また、ノートを実物投影機で移しながら書き方を繰り返し指導する。 |                   |           |
| 3  | 国語 | <div>調「話す・聞く」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」「言語に関する知識・理解・技能」において、いずれも区の平均を下回る結果となった。中でも「書くこと」においては、大きく下回る結果となった。</div> | ・作文、読書感想文等、書き慣れていなかったり、書き方が身に付いていなかったりする児童がいる。                                                              | ・作文の書き方指導をし、構成力を身に付けさせるとともに、書く取り組みを多く取り入れる。また、読書のさらなる推進をしながら、語彙を増やしていく。                                                                  |                   |           |
|    | 算数 | <div>調「数と計算」は、区平均より上回っているが、その他の領域では、区平均を下回っている。なかでも、「量と測定」においては、大きく下回っている。</div>                                          | ・既習事項の理解が十分でない児童がいる。そのため、具体物や半具体物を用いても、学習内容が十分に理解できないことがある。<br>・計算問題等への習熟をさらに図っていく必要がある。                    | ・計算問題に繰り返し取り組ませて習熟を図る。「量と測定」においては、既習事項の振り返りを行いながら具体物や半具体物を用いて学習を行い、興味関心を高める。<br>・家庭学習でも練習問題を適宜取り組ませ、家庭と連携しながらさらなる学習の定着を図る。               |                   |           |
| 4  | 国語 | <div>調「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」と「言語に関する知識・理解・技能」の領域で、標準スコアよりも少し下回る結果となった。</div>                                              | ・既習漢字の読み書きに課題が見られる。また、「とめ」「はね」「はらい」に気をつけて書くことへの意識を高めることも必要な児童が見られる。                                         | ・ICT 機器を活用して、朝学習の時間や授業で漢字について指導していく。また、家庭学習でも漢字の学習を取り入れたり、音読を取り入れたりして、新出漢字の読み書きの定着を図る。また、授業時間中に適宜到達度を確認する。                               |                   |           |
|    |    | <div>調「書くこと」の領域が区や全国のスコアを下回っている。「書くこと」に対して個人差が大きいことが課題である。</div>                                                          | ・「書くこと」に対して苦手意識をもっている児童が見られる。                                                                               | ・文章を書く際には、段落相互の関係に着目させたり、短文作りを適宜授業に取り入れたりして指導する。                                                                                         |                   |           |

|    |                                                                                  |                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                          |  |  |
|----|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
|    | 算数                                                                               | <div>調各領域とも標準スコアを上回っているが、「量と測定」「数量や図形についての知識・理解」の領域が、全体と比較すると少し下回る結果となった。</div> <div>学計算の習熟が十分ではない児童が見られる。</div>                            | <div>・数量感覚や、図形の定義や性質への理解が十分でない児童が見られる。</div> <div>・計算の仕方を間違って覚えていたり、かけ算を確実に理解することが難しかったりする。</div>                                                              | <div>・教材や発問を工夫して、算数の学習が日常生活に深く関わっていることを実感させて興味関心を高める。また、適宜 I C T 機器や具体物を活用しながら指導し、学習内容の定着を図る。</div> <div>・授業だけでなく、家庭と連携しながら家庭学習を行い、計算問題を適宜取り入れて指導し、計算の習熟を図る。</div>       |  |  |
| 5  | 国語                                                                               | <div>調「書くこと」の領域で、標準スコアよりも少し下回る結果となった。</div> <div>調「書く能力」の観点が区や全国のスコアを下回っている。「書くこと」に対して個人差が大きいことが課題である。</div>                                | <div>・「書くこと」に対して苦手意識をもち、何をどのように書いたらよいのか悩んでいる児童が見られる。</div>                                                                                                     | <div>・日記や短文作りを日常的に取り入れたり、授業で言葉集めをし、語彙力を増やようにしたりして、「書くこと」に関する力の定着を図る。</div>                                                                                               |  |  |
|    | 算数                                                                               | <div>調「図形」の領域は、標準スコアよりも少し下回る結果となった。</div> <div>調「数量や図形についての知識・理解」の観点が、標準スコアよりも下回る結果となった。</div>                                              | <div>・作図の方法やコンパス、分度器の扱い方の理解が不十分だったり、理解していても、上手く扱うことができなかったりすることがある。</div>                                                                                      | <div>・図形の指導においては、定義や性質、作図の学習の時間を確保し、習熟を図る。また、学習した図形を切り取らせたり、敷き詰めさせたりするなど、操作的活動を取り入れる。活動を通して、図形への理解を深めていく。</div>                                                          |  |  |
| 6  | 国語                                                                               | <div>調昨年課題であった段落構成で文章を書く力は目標値、全国正答率よりも上回っており、力がついてきたことが分かる。しかし、『自分の意見を明らかにして文章を書くこと』が若干下回る。</div> <div>学相手や場面において表現を変えることが苦手な児童が見られる。</div> | <div>・1年間、日記指導を続けたことにより、段落構成を考えて書いたり、書きたい題材を集めたりする力はついてきた。第6学年では、自分の考えの根拠を明らかにして書く力をさらに伸ばしていきたい。</div> <div>・話し言葉や書き言葉の表現の違いや、敬語などを適切に用いることができていない児童がいる。</div> | <div>・アイデアを出したり、考えをまとめたりするときは、図や表を用いて考えさせる。また、文章構成シートやふせんを活用して、自分の考えを整理し、読み手を意識した表現ができるよう指導する。</div> <div>・国語の言葉の学習の単元では、ロールプレイなどを交えて相手や場面に合わせた言葉遣いについて丁寧に指導していく。</div>  |  |  |
|    | 算数                                                                               | <div>調「数と計算」の領域で全国・目標共にスコアを下回っている。</div> <div>学分度器やコンパスなど、用具の操作に課題が見られる。</div>                                                              | <div>・『小数のかけ算・わり算』、『分数のたし算・ひき算』の技能の定着が不十分である。</div> <div>・三辺の長さを使って、合同な三角形を作図することが定着していない児童が見られる。</div>                                                        | <div>・小数や分数の概念を、I C T 機器を活用して理解の定着を図る。また計算の仕方を、I C T 機器を使って拡大提示し、授業や家庭学習において反復練習を行う。</div> <div>・用具の操作のポイントをしっかり示し、苦手な児童には個別指導をする。</div>                                 |  |  |
| 音楽 | <div>学・歌唱を好み、大きな声で楽しんで歌っている。</div> <div>・鍵盤ハーモニカ、リコーダーにも興味をもち、意欲的に取り組んでいる。</div> |                                                                                                                                             | <div>・リズムを読み取る体験が少なく、拍の流れを意識する習慣がさほどない実態がある。</div> <div>・階名読みのできる児童とそうでない児童に差があり、階名読みにふれる機会が少なかった実態がある。</div>                                                  | <div>・拍の流れにのってリズムを読んだり、体を動かしたりする活動を多く取り入れていく。</div> <div>・学習する曲の一部分を少しずつ読んだり、リズム打ちをしたりすることにより、楽譜に親しめるように配慮する。</div> <div>・階名と実際の音とのつながりを意識して、繰り返し感得していく活動を取り入れていく。</div> |  |  |

|    |                                                                                                      |                                                                                                |                                                                                                                |  |  |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 図工 | <div>学 2年生</div> <div>・図工室での決まりを指導し、覚え始めている。</div> <div>・絵の具は水で薄めて塗るなど、絵の具の使い方の再確認が必要な児童も見られる。</div> | <div>2年生</div> <div>・絵の具やステープラーなど、図工で使用する基本的な用具の扱いを覚えることが課題である。</div>                          | <div>2年生</div> <div>・様々な素材や材料に取り組ませることにより、体系的に経験量を増やしていき、児童が意欲をもって取り組める教材を提示する。</div>                          |  |  |
|    | <div>学 3年生</div> <div>・図工室での決まりを指導している。</div> <div>・自由な発想を出せる児童が多い。</div>                            | <div>3年生</div> <div>・自由な発想から作品作りができる反面、集中力が持続しない児童も見られる。一つの課題に対して粘り強く取り組むことが課題である。</div>       | <div>3年生</div> <div>・単調な作業の繰り返しにならないように、変化の見られる素材を提示する。</div> <div>・平面と立体を交互に取り組ませるなど、児童の意欲が高まる教材の提示をする。</div> |  |  |
|    | <div>学 4年生</div> <div>・集中して静かに説明を聞く姿勢が見られる。</div> <div>・自信が無かったり、意欲を持続できなかったりする児童がいる。</div>          | <div>4年生</div> <div>・写実的な描写に対して自信をもって取り組めない児童が見られる。</div>                                      | <div>4年生</div> <div>・写実的な絵画だけではなく、様々な素材の教材を提示する。</div>                                                         |  |  |
|    | <div>学 5年生</div> <div>・授業の時間を守って行動することを指導している。</div> <div>・工具の扱いは概ねできている。</div>                      | <div>5年生</div> <div>・時間を守って行動できる。作品作りに積極的に取り組む児童が多い反面、消極的になってしまう児童も見られる。</div>                 | <div>5年生</div> <div>・児童の実態に合った題材に取り組ませ、作品作りの喜びを感じられるように授業を展開する。</div>                                          |  |  |
|    | <div>学 6年生</div> <div>・図工室での決まりを指導している。</div> <div>・絵画の描写力は比較的高い。</div>                              | <div>6年生</div> <div>・絵を描くことに対して、積極的に取り組む児童が多い反面、写実的な絵の場合、他者と比べてしまい積極的に取り組むことが難しい児童も見られる。</div> | <div>6年生</div> <div>・写実的な絵画だけに取り組ませるのではなく、自由な発想が出てくる工作などにも取り組ませる。</div>                                        |  |  |
| 特支 |                                                                                                      |                                                                                                |                                                                                                                |  |  |

調…新宿区学力定着度調査の結果から見える学習状況

学…授業での様子や提出物、作品、ワークテスト等から見える学習の状況

※分量は2 ページ以上となってもよい。